

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------|---------|-------------------------|--------|---|
| 家計動向関連 (四国) | ◎ | 一般小売店〔生花〕（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス対策の自粛期間が終わり、新規感染者数も減ったことから、忘年会や今までできなかった送別会をするため、街中に人が増えてきた。贈物を買いに来店する人が増えた。 |
| | ◎ | 通信会社（社員） | 販売量の動き | ・当社委託先の訪問販売が再開し、数か月程度ではあるが、契約件数や販売量はコロナ禍に入る前までの水準まで戻っている。 |
| | ◎ | 観光遊園地（職員） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染が全国的に落ち着き、団体と個人共に利用の増加が顕著である。 |
| | ◎ | 美容室（経営者） | 来客数の動き | ・今のところ、新型コロナウイルスも落ち着いているため、かなり客は増加している。前年と比べても売上は大幅に上がっている。 |
| | ○ | 商店街（事務局長） | 来客数の動き | ・国内の新型コロナウイルス新規感染者数が極端に少なくなったことから、第6波が起きる前に、高齢者も含め幅広い年齢層で、外出やレジャー、買物を久しぶりにする姿が多く見受けられる。 |
| | ○ | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・週末は観光客を中心にかなりの数の客が訪れている。大変厳しかった観光業や飲食業を中心に回復している。 |
| | ○ | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス感染症の減少傾向が継続しており、少しずつではあるが来客数も前年より増加している。しかし、新型コロナウイルス新変異株等が発生しており、不安定な要素が感じられる。 |
| | ○ | 一般小売店〔書籍〕（営業担当） | 販売量の動き | ・12月になって急に忙しくなった。店頭売上、外商売上共に前年同月を上回った。 |
| | ○ | 百貨店（企画担当） | お客様の様子 | ・来客数が前年を大きく上回っており、良い状態が続いている。 |
| | ○ | 百貨店（営業管理担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染が一段落したことで、来客数は前年のマイナスからプラスに転じた。 |
| | ○ | 百貨店（販売促進） | 来客数の動き | ・リニューアルオープン後、家族連れや若い世代など、これまでは少なかった客層の来店が増加している。 |
| | ○ | コンビニ（店長） | お客様の様子 | ・今月に入り徐々に売上は回復しており、特に20日頃から明らかに来客数が増加している。イベントに向けて、購買に力強さを感じている。 |
| | ○ | コンビニ（商品担当） | お客様の様子 | ・まだ新型コロナウイルス新変異株の感染拡大はなく、今のところ年末年始の来客数には影響していない。 |
| | ○ | 衣料品専門店（経営者） | 来客数の動き | ・年末で、来客数は増加している。また、アウターが多く売れているため、売上も悪くない。新型コロナウイルス感染症は収束傾向にあるため、景気は徐々に良くなっている。 |
| | ○ | 衣料品専門店（営業責任者） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルス発生前と比べて、85%程度まで売上は戻っているが、水準としては依然として厳しい状態で推移している。しかし、街に来る人は、徐々に増えている。 |
| | ○ | 家電量販店（店員） | 販売量の動き | ・ボーナス以降、全体的に販売量が増えている。 |
| | ○ | 乗用車販売業（営業担当） | 販売量の動き | ・半導体不足が少し解消され、新車が入荷されてきたため、販売量は増加した。 |
| | ○ | 乗用車販売店（従業員） | 販売量の動き | ・モデルチェンジをした車種もあり、新車の受注は、前年を上回るペースで進捗している。 |
| | ○ | その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス発生前の水準までは回復していないが、3か月前と比べると、回復基調にある。 |
| | ○ | 一般レストラン（経営者） | 来客数の動き | ・まだまだ不安要素はあるものの、新型コロナウイルス新規感染者数が少なくなり、客足は戻りつつある。 |

| | | | | |
|----------------------------|---|----------------|------------|--|
| | ○ | 観光型旅館（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いており、年末年始は来客数が回復している。ただし、団体客の回復は遅れており、以前の状態には戻っていない。 |
| | ○ | タクシー運転手 | お客様の様子 | ・売上が少し増加している。夜の街については、会社の忘年会などは減少しているが、小グループや学生の数は少し増加した。 |
| | ○ | 通信会社（営業部長） | 販売量の動き | ・販売は好調な商品があれば良くなるため、販売計画も強気に目標を立てている。 |
| | ○ | 競輪競馬（マネージャー） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者数は激減し、ワクチン接種の効果がでていとの安心感から、人流が活発化しており、消費意欲の上昇がみえてきた。 |
| | ○ | 美容室（経営者） | 来客数の動き | ・当県で新型コロナウイルス新規感染者数ゼロの日が続いているためか、前年の12月と比べて来客数が増えている。 |
| | ○ | 設計事務所（所長） | お客様の様子 | ・都市部との往来が以前よりも活発になっている。 |
| | □ | 一般小売店〔酒〕（販売担当） | 販売量の動き | ・当県では、新型コロナウイルス新規感染者数がゼロの日が継続したため、12月の週末は繁華街がにぎわい、飲食店への納品も少し増加した。 |
| | □ | スーパー（財務担当） | お客様の様子 | ・客から、ようやく外食に行けるようになったとよく言われる。 |
| | □ | コンビニ（店長） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス感染が落ち着くなか、売上増加を期待していたが特に変化はない。売上減少にはなっていないという状況である。 |
| | □ | コンビニ（総務） | 来客数の動き | ・コロナ禍で減少した客数は戻らず、来客数の前年割れ傾向は変わらない。 |
| | □ | 衣料品専門店（経営者） | 来客数の動き | ・11月後半の売上は良かったが、今月は平日の売上は厳しく、週末にカバーすることで前年並みである。 |
| | □ | 乗用車販売店（役員） | 販売量の動き | ・受注は好調ではあるが、生産は回復途中である。もう少し時間が掛かる。 |
| | □ | タクシー運転手 | 来客数の動き | ・年末で遍路の仕事はほとんどなくなった。一方で、夜の街には人が出てきており、少しずつにぎわいを取り戻してきている。 |
| | ▲ | 商店街（代表者） | それ以外 | ・新型コロナウイルス新規感染者数は大幅に減少しつつあるが、世界では新規感染者数が激増しており、水際作戦でどう食い止めるか、予断を許さない。世界経済も米中の新たな冷戦時代が始まっており、厳しい時代に入った。 |
| | ▲ | 家電量販店（副店長） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルス新規感染者数は少なくなったが、来客数の伸びは戻っていない。 |
| | × | スーパー（店長） | 来客数の動き | ・客単価は落ちていないものの、来客数が大幅に減少している。 |
| 企業 動向 関連 (四国) | ◎ | — | — | — |
| | ○ | 木材木製品製造業（営業部長） | 受注量や販売量の動き | ・受注量は大幅にアップしている。一方で、ウッドショックとコンテナ不足で原材料不足が発生しており、1月、2月に販売のピークを迎えるが、材料の供給が非常に懸念されている。それに原材料の大幅なコストアップにも苦慮しており、販売先への価格改定が急務である。 |
| | ○ | 電気機械器具製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・受注量が徐々に増加したり、大きな案件が決まったりしているため、景気は回復している。 |
| | ○ | 輸送業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・新型コロナウイルス新変異株が気になるが、それ以上の世間の期待を感じる。 |
| | ○ | 通信業（総務担当） | それ以外 | ・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたこともあり、社外団体のイベント等への参加者が若干増加している。 |
| | ○ | 税理士事務所 | 取引先の様子 | ・年末で、購買意欲が高まっている取引先が多かった。 |

| | | | | |
|------------------|-----------------|----------------|---|---|
| | 農林水産業（職員） | 受注価格や販売価格の動き | ・青果物の卸売価格は、飲食等の業務需要が新型コロナウイルス発生前の60%から80%程度まで回復したこともあり、業務での使用が多い品目は、年末相場が出るなど、需給に応じた価格形成がされた。しかし、一般消費の多い品目は引き合いが鈍く、前年にも増して低調な価格で推移した。量販店では、青果物を利益商材として卸売価格を反映した価格設定をしていない店が多いことが1つの要因である。 | |
| | 鉄鋼業（総務部長） | 受注量や販売量の動き | ・上期に比べて下期は劇的に受注が回復してきたが、その後は横ばい状態である。新型コロナウイルス発生以前の水準には戻っていない。 | |
| | 一般機械器具製造業（経理担当） | 受注量や販売量の動き | ・各国政府の経済対策により、市場マインドは上向きつつあるものの、地域的にはばらつきが大きく、全体として本格的な需要回復には至っていない。 | |
| | 建設業（経営者） | 競争相手の様子 | ・本業については、例年並みの売上、利益が上がっており、変わりはない。問題は新型コロナウイルス新変異株による企業の福利厚生や研究、営業活動に自粛の傾向が生じていることである。企業によって対応が違っているので、業界全体としては好況感は抑制傾向になっている。 | |
| | 建設業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・受注量が伸びなかった。 | |
| | 輸送業（営業） | 受注量や販売量の動き | ・年末は繁忙期でありながら、取扱物量に著しい増加はなく、臨時便で対応を行うことすらなかった。特に例年であれば、年始初売り用の一般消費財が初荷として前倒しで出荷されるために年末に到着する事例が見受けられたが、現状では皆無となっており、小売店の景気の低迷を強く感じる。 | |
| | 輸送業（経理） | 受注量や販売量の動き | ・一部の大手素材メーカーの輸出の出荷量は、好調を維持しているが、その他の業種の国内向け出荷量は、伸び悩む状態が続いている。 | |
| | 通信業（企画・売上管理） | 受注量や販売量の動き | ・例年12月は受注量が多いが、今年は想定していたほどの受注はなく、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除された3か月前から、大きな動きはない。 | |
| | 金融業（副支店長） | 取引先の様子 | ・取引先の試算表や代表者等からのヒアリングにより、足元での受注や引き合い、客足等に改善はうかがえず、売上回復にはつなげていない。 | |
| | ▲ | * | * | * |
| | × | — | — | — |
| 雇用 関連 (四国) | ◎ | — | — | — |
| | ○ | 人材派遣会社（営業担当） | 求人数の動き | ・中小企業からの事務系の派遣依頼が増えている。 |
| | ○ | 求人情報誌（営業） | 求人数の動き | ・周辺企業での求人数が引き続き増加傾向にある。特に製造業や運輸業では、幅広い職種での求人数が増えており、景気は回復傾向にある。 |
| | ○ | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | それ以外 | ・新型コロナウイルスで落ち込んだ観光や飲食の需要、街中の人出も新型コロナウイルス発生前に戻りつつある。 |
| | ○ | 職業安定所（求人開発） | 求人数の動き | ・前月の新規求人数や有効求人倍率、新規求職申込件数が増加している。 |
| | □ | 民間職業紹介機関（所長） | 求人数の動き | ・新卒向けの求人について、特に変化はみられない。 |
| | □ | 学校〔大学〕（就職担当） | 採用者数の動き | ・前月から内定者数は増えているが、まだ十分とはいえない。 |
| | ▲ | — | — | — |
| × | — | — | — | |